

チームとなって取り組む学校行事の精選

1 学校行事に関わる北海道全体の課題

北海道内の小・中学校においては、学校行事の準備や練習に多くの時間が配当されている傾向があり、教科の学習内容や学習規律の定着等に課題が見られます。

○ 単元の学習活動が断続的になります。

例えば、系統的に理解しながら課題解決を進める算数科において、前時の学習から時間が経過したため、学習した内容を忘れてしまい、学習内容が定着しにくい状況が見られます。

○ 授業中の集中力が低下しやすくなります。

学校行事の練習のための準備や練習そのものに時間をかけたため、授業の開始に影響が出たり、練習と学習活動の切り替えができず授業中の集中力が低下したりするなどの状況が見られます。

○ 家庭学習の時間が確保されず、生活リズムが乱れやすくなります。

放課後遅くまで準備をしていたり、朝早く練習を行ったりするなどにより、これまで身に付いた家庭学習の習慣や生活リズムが乱れるなどの状況が見られます。

○ 学習規律が徹底されなくなります。

学校として統一してきた「チャイムが鳴ったら席に着く」や「休み時間中に次の授業の準備を終わらせておく」などの学習規律が、学校行事の準備等により、十分に指導ができないなどの状況が見られます。

A小学校第5学年の運動会の特別時間割（2週間）

	月	火	水	木	金	土	日	月
1	国	算	音楽 ダンス 練習	国	道	学	道	振替 休日
2	全校 練習	音楽 ダンス 練習	音楽 ダンス 練習	算	理	全校 練習	道	振替 休日
3	全校 練習	園工 道具 作り	社	家	全校 練習	理	大運動会	振替 休日
4	社	園工 道具 作り	総	家	全校 練習	理	大運動会	振替 休日
5	理	学	全校 練習	5,6年 合同 練習	学	職 員 反 省	学	振替 休日
6	音楽 ダンス 練習	全校 練習	係 活動	5,6年 合同 練習	係 活動	係 活動	学	振替 休日

・ 週当たりの国語や算数などの配当時間が少なく、前時との関連を図った学習指導に支障が生じます。
・ 図画工作科などにおいて学習指導要領との関連があいまいな内容が扱われています。

算数の単元ごとの正答率（網掛けは運動会時期に指導した単元）

	整数と小数	体積	小数のかけ算	小数のわり算	合同な図形	偶数と奇数
第5学年	82%	85%	91%	61%	69%	70%
第6学年	62%	79%	88%	49%	92%	80%

A小学校では、運動会時期に指導を行った単元の正答率が、他の単元と比較して低い結果となっていることが明らかになりました。

2 学校行事の配当時間の精選の大まかな手順（運動会を例に）

□ 1. 学校行事ごとのねらいと活動内容を見直します。

- ① 運動会のねらいが特別活動の健康安全・体育的行事のねらいや体育科等の目標から大きく逸脱していないかを確認します。
- ② 例えば、図画工作科の時間で運動会の道具づくりを行うなど、他教科等で運動会の準備や練習を行っている場合、その内容が当該教科等の指導内容から逸脱していないかを確認します。

□ 2. 学校行事の練習や準備に配当していた時間を見直します。

- ① 運動会の準備期間中における各教科等の学習内容の定着状況や学習意欲などについて、学力調査や児童による授業評価等を通して把握します。
- ② 運動会の準備期間であっても系統的・発展的な指導ができるよう、運動会の種目を体育科で指導する内容に変更するなど、特別に時間を配当して行う練習の縮減を検討します。
- ③ 特別な時間割を編成しなくても運動会のねらいが達成できるよう、教科や領域との関連を図った運動会の実施計画を作成し、児童や保護者、地域住民に周知します。

□ 3. 実施後すぐに次年度の計画を作成し、教育課程の改善サイクルを確立します。

- ① 今年度の運動会の取組を基に、実施後すぐに次年度の運動会の計画を作成します。また、他の学校行事の配当時間の精選に向けた基本的な考え方と見直しに向けた次年度の計画を明確にします。
- ② 各教科や領域のバランスを考慮し、学校行事の配当時間の精選を適切に行った教育過程を全教職員で編成します。
- ③ 教育課程の評価計画を見直し、教育課程改善サイクルを確立します。

3 学校行事の配当時間精選の実際

○ 運動会

健康安全・体育的行事のねらいや、体育科をはじめとする各教科等の指導内容に照らして、次の視点を参考に検討します。

視点①：教科で指導すべき内容を改めて時間を配当して練習させていないか。

- 例・入・退場や整列の練習の配当時間が多い。
- ・マスゲームの練習の配当時間が多い。

視点②：児童に過重な負担をかけていないか。

- 例・背中渡りリレーや組体操等、学年種目の練習の配当時間が多い。
- ・選抜リレーに限られた一部の児童による競技となっており、練習も別途行っている。

視点③：学校行事の練習や準備に、他教科等の時間を使っていないか。

- 例・ダンスや運命的競技等の道具づくりを図画工作科で行っている。

具体的な改善の例

- ・入・退場の簡素化を図るとともに、体育科の授業において、運動会を想定して体を移動する運動を計画的に行う。
- ・マスゲームを廃止し、体育科で練習可能なダンスとする。
- ・学習指導要領に示された内容や児童の実態を踏まえ、伝統的に行われてきた種目（背中渡りリレーや組み体操等）の簡素化を図る。
- ・学級全員で行っていた大縄跳びには、選抜リレー選手の児童は参加しないなどの工夫により、それぞれの練習を同時に行う。
- ・児童の体力・運動能力の向上を目指すという運動会のねらいから運命的競技を廃止し、道具づくり等の準備を縮減する。

○ 学芸会

文化的行事のねらいや、音楽科や総合的な学習の時間等の指導内容に照らして、次の視点を参考に検討します。

視点①：教科で指導すべき内容を改めて時間を配当して練習させていないか。

- 例・器楽合奏の練習の配当時間が多い。
- ・演劇の練習の配当時間が多い。

視点②：児童に過重な負担をかけていないか。

- 例・難度の高い曲を器楽合奏曲に選んだり、当該学年の音楽科で指導しない楽器を使用させたりしている。

視点③：練習や準備のために、他教科等の時間を使っていないか。

- 例・演劇等の練習や大道具製作等の準備を国語科や図画工作科、総合的な学習の時間で行っている。

具体的な改善の例

- ・学芸会を「児童が各教科や総合的な学習の時間等における学習の成果を総合的に発表する場」と位置付け、「学習発表会」とする。
- ・器楽合奏や合唱については、音楽科の時数の中で指導できる内容とする。国語科の音読や朗読の学習の成果を発表する。
- ・当該学年の音楽科の目標や指導内容を踏まえて、歌唱や楽器の基礎的な技能を高める指導を行う。
- ・大がかりな器楽合奏や演劇、全校発表等の取組を見直すとともに、地域の伝統文化の舞踊については総合的な学習の時間で扱う。
- ・学芸会の準備期間中においても教科等の授業時間の確保と指導内容の適切な実施に努めるとともに、落ち着いて学習に取り組める教室環境づくりを進める。